

○第245回 遺伝子組換え食品等専門調査会（非公開）

日時：令和6年2月28日（金）9：58～12：17

議事概要：

（1）JPBL015 株を利用して生産されたトランスグルタミナーゼ

- ・審議の結果、評価書（案）を一部修正の上、食品安全委員会へ報告することとなった。
- * タンパク質及びペプチド中のグルタミン残基の γ -カルボキシアミド基をアシル供与体とし、リジン残基または各種一級アミンとの間でアシル転移反応を触媒する酵素です。

（2）*Saccharomyces cerevisiae* NS470（CBS 615.94）株を利用して産生された α -ガラクトシダーゼ

- ・継続審議となった。
- * 糖分子等からなる分子鎖に側鎖として α -D-ガラクトシド結合した非還元末端側のガラクトースの分解活性を持つ酵素です。